

【令和5年度 政策・調整会議】

件名：川崎港港湾脱炭素化推進計画（カーボンニュートラルポート形成計画）の策定について

日時：令和5年7月19日（木）15:05～15:10

場所：第3庁舎18階 大会議室

●付議理由

川崎臨海部においてCNPの形成を推進するための具体的な取組について定め、水素等の大量・安定・安価な輸入・貯蔵等を可能とする受入環境の整備や、エネルギー利用の地域最適化や脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じて、温室効果ガスの排出を全体として実質ゼロにすることを旨とする。

●付議概要

川崎港港湾脱炭素化推進計画の策定に向け、以下のように案を取りまとめ、広く市民意見を募集する。

1. 官民の連携による脱炭素化の促進に資する取組方針

- ・水素を軸としたカーボンニュートラルなエネルギー供給拠点の形成
- ・川崎臨海部の面的・効率的なカーボンニュートラル化

2. 港湾脱炭素化推進計画の目標

(1) 温室効果ガス削減目標等

項目		短中期（2030年度）	長期（2050年度）
温室効果ガス削減目標 （2013年度比）	計画全体	50%以上削減	実質ゼロ
	港湾管理者排出分	90%以上削減	実質ゼロ
温室効果ガスの排出が実質ゼロとなった 港湾ターミナル（公共）の割合		90%以上達成	100%達成

(2) 水素等の供給目標：水素需要の推計＝約2,300t/日※

※NEDO調査により把握したもので、現時点で見込まれている推計値

近隣自治体とも連携しつつ、今後とも水素等の需要の掘り起こしなどに取り組むとともに、首都圏のカーボンニュートラルなエネルギーの供給拠点として、川崎港における水素等の供給体制の構築に向けた取組を推進する。

3. 港湾脱炭素化促進事業及びその実施主体

- ・温室効果ガス削減及び吸収に関する事業：33主体による93事業
- ・水素等の供給に関する事業：4主体による4事業

※各主体の現在の検討状況を示したものであり、今後の脱炭素化に資する技術の進展及び社会状況の変化等を踏まえた各主体の検討や、企業間連携の進展を反映していく。

●主な意見

- ・関係局とも連携し、温室効果ガス削減目標の達成に向け、計画の適切な進捗管理等を行うこと。

●結論

案のとおり了承。